

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	防災訓練事業				開始年度	
基本目標	活水対策・土砂災害防止対策の推進				終了年度	
担当課(局)	総務課	担当係	生活安全係	記入者	川野 和成	評価者 間 省二
20年度決算	千円	21年度予算	508 千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助	<input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	2,515 千円	21年度人件費	2,549 千円	事業従事者数	0.35 人	0.35

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	災害に強い安全なまちづくりを目指して、災害発生時に迅速かつ適切な応急対策が実行できるよう、住民一人ひとりの災害に対する心構えと日頃の準備、行動ができるよう、避難訓練や災害予防訓練を実施し、防災体制の確立を図る。
事業の内容	例年9月1日に近い日曜日に年次的に選択した地区自治公民館の住民参加で、消防団、消防署、警察署、日本赤十字等の防災機関との合同による防災訓練を実施する。本年度は、 県総合防災訓練に合わせて実施する 。訓練内容は、避難訓練、初期消火訓練、救急救助訓練、地震体験訓練、煙体験訓練、現地対策本部設置訓練

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 訓練回数	年1回の実施する。
	2 参加者数	多くの関係機関、住民が参加することで、防災意識の高揚が図られる。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 会議回数	防災機関との打合せ(3回)、リーダー会議(3回)を開催する。
	2 準備に要した費用	最小の経費で最大の効果を図る
	3	

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度
成果指標	訓練回数	目標値	1	1	1
		実績値	1	0	
		達成率	100.0%	0.0%	
	参加者数	目標値	300	400	1,000
		実績値	379	中止	
		達成率	126.3%	#VALUE!	
0	目標値				
	実績値				
	達成率	0.0%	0.0%		
活動指標	会議回数	目標値	2	2	6
		実績値	2	2	
		達成率	100.0%	100.0%	
	準備に要した費用	目標値	千円	281	508
		実績値		10	
		達成率	0.0%	3.6%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	0.0%	0.0%	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	◎町地域防災計画に定めている。(2章21節) ◎県による総合防災訓練は実施されているが、高鍋町自体の参加は年次的な順番による。高鍋町で実施の場合は、町の総合防災訓練は省略することも検討される。 ◎事業の廃止によって、防災意識の低下が懸念されるとともに、緊急時の対応に支障を来す。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	地域参加型の防災訓練では、地区の防災意識の向上と自主防災組織確立につながるため、成果はあると思われる。しかし、全町的な実施には数年を要するため、各年度単位での成果はやや低いと思われる。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	◎住民の参加数に見られるように、活動量の効果は上がっている。 ◎消防団の出動費用は生じるが、その他の経費はあまりかからないので節減の必要はない。
協働性	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	自治公民館との連携がとれることと、防災機関との連携が図れる。

事務事業名	防災訓練事業	担当課(局)	総務課
-------	--------	--------	-----

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	予期しない災害から身を守るために、自らの安全は自らが守る意識と、地域コミュニティが一体となって防災に取り組むことが最大の災害防止になり、訓練の充実を図る必要がある。	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充			○
				現状維持			
				縮小			
				廃止			
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎「防災備品等整備事業」「防災情報配信事業」「自主防災組織育成事業」「防災訓練事業」については、「防災事業」として総合的に評価を行う方が良い。
	コスト	現状維持	